

2014年10月23日  
株式会社日立システムズ

## 公共機関におけるオープンデータの公開基盤整備を支援する 「オープンデータポータルソフト」を開発

デファクトスタンダードのソフトウェアと構築経験を生かし、データを容易に利活用できる環境を提供

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:高橋 直也、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、官公庁や自治体などの公共機関におけるオープンデータ(\*1)の公開基盤整備(データカタログサイト)の構築を支援するため、「オープンデータポータルソフト」を開発しました。

「オープンデータポータルソフト」は、オープンデータの公開基盤として世界でデファクトスタンダードとなりつつあるソフトウェア CKAN(\*2)を活用して、これまでの実証実験におけるデータカタログサイト構築時の経験・ノウハウに基づき、短期間に低コストで利用者にとって使いやすいデータカタログサイトを提供するために開発したソフトウェアです。日立システムズは、日立グループが提供するオープンデータソリューションのラインアップの一つとして、本ソフトウェアを活用して提供する「オープンデータソリューション データカタログサイト導入サービス」を拡販します。

近年、オープンガバメントと呼ばれる「インターネットを活用して政府を国民に開かれたものにしていくための取り組み」が世界で注目されています。その中でもオープンデータは重要と考えられており、日本においても、オープンデータの取り組みを通じて、行政の透明性と信頼性の向上、行政への国民参加と官民協同の推進、経済の活性化と行政の効率化などをめざしています。

各公共機関では、オープンデータを単に Web サイトに掲載するだけでは利用者が目的のデータを効率良く探すことが困難であることから、データを容易に検索・利活用できるオープンデータの公開基盤整備に着手しています。

こうした背景をふまえ、日立システムズは、オープンデータの公開基盤用のソフトウェアとして、CKANと連携する「オープンデータポータルソフト」を開発しました。CKANは他の CKAN で構築されたデータカタログサイトとデータ連携する機能を有しており、オープンデータがより利用しやすくなります。日立システムズは、CKAN の優れた機能を日本で使いやすくするための機能(検索機能や、データの一括ダウンロード機能など)を盛り込んだソフトウェアを独自に開発し、本ソフトウェアを活用した導入サービスを提供します。本サービスでは、どのようなデータが利用者に求められているかや、データ公開時の留意点をアドバイスするとともに、利用者のアクセシビリティとユーザビリティの向上に配慮した「見やすい」「使いやすい」画面デザインのデータカタログサイトを、日立グループにおけるこれまでの構築実績(経済産業省実証実験など)を基に提供します。「オープンデータポータルソフト」を活用してデータカタログサイトを構築することにより、どこに必要なデータがあるかを利用者に分かりやすく公開することができるため、データはあるのに活用しにくいという課題を解決し、データの活発な利用を促進することができます。

今後も日立システムズは、「オープンデータソリューション データカタログサイト導入サービス」をはじめ、日立グループと連携して関連するサービス(計画策定支援サービス、メタデータ生成・登録サービスなど)を拡販し、2019年までに累計21億円の売上をめざします。

\*1 オープンデータ: 公共機関が保有する統計情報、地図情報などの公共データを個人や企業などの利用者が利活用しやすい利用ルールおよび形式で公開すること、または、公開されたデータのこと。

\*2 CKAN: イギリスの非営利団体 Open Knowledge Foundation が開発したオープンソースのデータカタログサイト構築用ソフトウェア(データカタログシステム)であり、データの公開、共有、検索などの機能を備えています。イギリスの Data.gov.uk をはじめ、世界各国の政府オフィシャルサイトが CKAN を使用して構築されており、データカタログサイト構築用ソフトウェアのデファクトスタンダードとなっています。

## ■導入イメージ図



- ✓ 色面を広くし、ユーザーの視線を検索エリアに誘導
- ✓ ユーザー独自の組み合わせによる複数のデータを一元的に表示、ダウンロード可能
- ✓ 他のデータカタログサイトに掲載されたデータとの連携が可能

オープンデータの利活用を促進

データカタログサイトでは、メタデータ(タイトル、URL、データ形式、作成者などの情報)を登録することができるため、一般的な Web サイトにデータを掲載するよりも、目的のデータを効率よく探すことが可能です。

## ■日立グループのオープンデータソリューション

区分	名称	価格
現状分析・計画策定支援	現状調査・分析サービス	個別見積
	計画策定支援サービス	
データ公開基盤整備支援	データカタログサイト導入サービス	
	データフォーマット変換・データ整形サービス	
	メタデータ生成・登録サービス	
	オープンデータ対応 CMS 導入サービス	
オープンデータ利活用促進支援	オープンデータ活用イベント実施支援サービス	
	ソーシャルメディア活用・分析サービス	

## ■日立の「オープンデータソリューション」に関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/app/opendata/>

## ■「オープンデータソリューション データカタログサイト導入サービス」の Web サイト

<http://www.hitachi-systems.com/solution/s0306/data/index.html>

## ■Hitachi Innovation Forum 2014 TOKYO での紹介について

日立グループは、2014年10月30日(木)～31日(金)に東京国際フォーラムで開催するHitachi Innovation Forum 2014 TOKYO において、「オープンデータソリューション」を紹介します。

<http://iforum.hitachi.co.jp/>

## ■お客さまからのお問い合わせ先

株式会社日立システムズ

商品お問い合わせ窓口:TEL 0120-346-401(受付時間:9時～17時/土・日・祝日は除く)

お問い合わせWebフォーム:<https://www.hitachi-systems.com/d-inquiry/contact.cgi>

## ■報道機関のお問い合わせ先


株式会社日立システムズ CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 杉山、住川

〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目2番1号

TEL:03-5435-5002(直通) E-mail : [press.we@ml.hitachi-systems.com](mailto:press.we@ml.hitachi-systems.com)

以上

\*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

 株式会社 日立システムズ

〒141-8672 東京都品川区大崎1-2-1

Tel. 03-5435-5002

[www.hitachi-systems.com](http://www.hitachi-systems.com)

Human \* IT 